



平成 19 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社アウトソーシング
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 土 井 春 彦
(コード番号：2427)
問 合 せ 先
役職・氏名 常務執行役員管理本部長 鈴 木 正 孝
電 話 054 - 281 - 4888 (代表)

平成 19 年 12 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 2 月 15 日に公表いたしました平成 19 年 12 月期(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)の中間期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1 . 平成 19 年 12 月期中間期(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)業績予想の修正

【連結】 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,100	224	110
今回修正予想(B)	12,100	340	170
増減額(B-A)	-	116	60
増減率(%)	-	51.8%	54.5%
前中間期(平成 18 年 6 月中間期)実績	9,687	170	113

【個別】 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,600	220	125
今回修正予想(B)	10,600	305	160
増減額(B-A)	-	85	35
増減率(%)	-	38.6%	28.0%
前中間期(平成 18 年 6 月中間期)実績	9,091	86	47

2 . 業績予想修正の理由(連結・個別)

当中間期の連結売上高については、当初予想通り、前年同期比 24.9%増の高い伸びを達成する見込みであります。これは、当社にて前期に同業他社に先駆けて行ったコンプライアンス体制強化(「請負は請負らしく、派遣は派遣らしく」を基本に取引先の見直しおよび管理レベルの底上げを図った)につき、当社の取り組みが多くメーカーの注目を集めており、当社のコンプライアンスを遵守した「適正な請負化」に向けた提案活動が「派遣期間のクーリング対策問題」を抱える多くのメーカーの高い評価を得たことから、新規顧客の獲得と既存顧客からの追加受注が予想通り順調に推移していることによるものであります。

利益面につきましては、当社が推進する「プロフィット・シェアリング・モデル(双方の経

営資源を融合し、改善を進め、生じた利益を分配するモデル)」の進展による生産性改善が予想を上回るペースにて実現していることから、当初予想を上回る見込みであります。

これらの結果、連結中間業績予想につきましては、当初予想と比べ、経常利益は 51.8%増の 340 百万円、当期純利益は 54.5%増の 170 百万円となる見通しであります。

また、個別中間業績予想につきましては、当初予想と比べ、経常利益は 38.6%増の 305 百万円、当期純利益は 28.0%増の 160 百万円となる見通しであります。

なお、当社グループは成長過程にあり、月を追う毎に売上および利益を着実に積上げております。そのため、第 1 四半期に計上される数値が通期予算に占める割合は各四半期の中で最も低くなりますが、当第 1 四半期においては前年同期の赤字から黒字転換を達成すると同時に業績予想に対する進捗も高まっております。

したがって、通期業績予想につきましては、現時点での変更はございませんが、今後につきましても顧客評価の高まりを受けた新規受注獲得の確度が高まる状況であることから、中間期末以降の事業の進捗状況を踏まえ、通期予想数値の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上